

## Ⅱ．事業の概況（令和元年度）

### 損益の状況

事業総利益は27億461万円で前年対比1億2,893万円の増加となりました。

事業利益は3億3,292万円で前年対比2億2,355万円の増加となりました。

経常利益は4億3,775万円で前年対比2億1,747万円の増加となりました。

税引前当期剰余金は1億5,821万円で前年対比1,345万円の減少となりました。

税引後当期剰余金は5,151万円で前年対比8,231万円の減少となりました。

### 指導事業

夏季の長雨による日照不足により、生育不良や病気が多く発生したことから、小まめな園地巡回による生育状況の確認と、適切な防除指導に努めました。また、台風15号・19号による相次ぐ被害により、被災された生産者の早期営農再開を目指し、災害復旧支援に取り組み生産者14名に対し、16日間で延べ123名が支援を行いました。「農家支援事業」では、295名（延590人・日）の職員が参加し、農家288件の農作業繁忙期を支援しました。「鳥獣被害対策事業」では、駆除実績2,953頭となり、電柵等被害防止負担と合わせ、10,651千円を支援するとともに、営農指導員が各地区猟友会に参画し協力体制の構築に努めました。

前年度から実施している「みどりの教室」では32名が新たに受講しました。さらに、専門性の高い「しいたけ栽培スクール」「水稻栽培スクール」についても開講し、農業に関心を持つ人の増加や、直売所出荷者等の増加に取り組みました。

### 園芸部門

1. 農業経営支援システムを活用した指導を、いちご・ハウスみかん農家に実施し、栽培環境を整え安定した生産に努めました。
2. 農家の高齢化対策として軽量作物（花麦・サカキ・シキミ・豆の花等）の普及に努めました。
3. 下田高校南伊豆分校と連携し、地域資源利用の観点から河津桜の切り花を試験出荷しました。

### 柑橘部門

1. 肥料散布作業の省力化のため、1発肥料や成分維持した軽量化肥料（15kg袋）を導入しました。
2. 「いずのはる」の普及と、生産部会強化・担い手とのリレーション強化体制整備に努めました。

### 林産部門

1. 山葵は「世界農業遺産」に認定され国内外から知名度も上がりました。また、台風による被災農家支援では、わさび苗災害対策事業を利用し、生産意欲の継続や向上に繋がりました。
2. 椎茸は例年どおり、原木しいたけ生産力増強対策事業による活用により原木の導入と植菌量の拡大に繋がりました。

### 女性部

1. ”郷土料理を次世代に”をテーマに親子クッキングフェスタを開催しました。
2. ”いっしょにやろうよ”の活動により、認定こども園・小学校等で交流を行いました。
3. 観劇ツアー（4月大歌舞伎公演）に延べ90名参加し、交流を深めました。
4. いきいきライフセミナー（営農加工・手芸・料理・健康・陶芸）などのクラブ活動と健康管理を学び、部員の交流や知識の向上を図りました。

---

## 青壮年部

1. 国会議員との意見交換を行い、度重なる台風による被害状況と支援要望、中山間地農業振興対策、鳥獣被害対策についての情報交換と、作物別グループディスカッションによる意見交換を行いました。
2. 食農教育として小学校・こども園と連携し、水稻・さつまいもなどの栽培を一緒にを行い、絵画・作文コンクールを実施しました。

---

## 広報事業

1. J A 自己改革の取り組みについて各部と連携し詳しく紹介しました。
2. 食育活動や農業振興、地域サービスなどを行う J A の姿を伝えました。
3. ホームページを通じ、情報発信の強化に努めました。
4. 報道機関に積極的に情報提供を行い、J A の存在価値を P R しました。

---

## 販売事業

「しずおか食セレクション」に多数の品目が認定されるなど、高品質な管内の農産物を P R し、消費拡大に繋げるため、生産者部会と連携した消費宣伝に努めました。いちごでは、県下産地と連携して、都内百貨店にて「いちごマルシェ」を開催し、静岡県産いちごを P R しました。また、柑橘類が裏年傾向のなか、外観基準緩和等の検討を行い取扱量増加に努めました。しかしながら、暖冬や台風被害等により計画は未達となりました。

直売所は、稲取漁港直売所「こらっしゅ」・竹麻支店「はればれ売店」が、昨年 4 月にオープンし、出荷者の獲得に努めるとともに、所得増大に努めました。また、定期的な売出し等のイベントを開催し、知名度アップに取り組みしました。

---

## 購買事業

農家組合員の農業所得増大に繋がる取り組みとして、他 J A と連携し物流体制の強化により生産資材価格を引き下げました。また、生産資材の組合員割引、お買得肥料・農薬の品目及び価格の見直しを継続するとともに、営農指導員と連携した肥料・農薬・保温資材等の生産資材推進及び予約推進により生産コスト抑制に取り組みました。

組合員へ満足度の高いサービスを提供するため、営農指導・生産資材の専門拠点となる営農経済センターの設置を検討しました。

中山間地に訪問する食料品移動販売車は、定期的な巡回場所の見直しを実施し、品揃えについても、地域の要望に合った商品になるよう充実を図りました。

---

### 1. 生産資材

農業者の労働力軽減を図る提案として、アシストスーツ等の体験を行いました。農業祭の中止により、多くの方に体験してもらう事ができませんでした。

地域の農作物に合った肥料等資材の価格引き下げや提案を実施するとともに、労働力軽減が図れる資材の検討を行いました。

---

### 2. 生活資材

少子高齢化が加速する管内の組合員及び、地域住民の暮らしをサポートするため、補聴器やシロアリ駆除等の業者選定・検証を実施し、安心して利用できる J A ブランドによる提案活動を実施しました。

---

### 3. 葬祭事業

施行件数は 4 2 8 件、前年比 6 3 件の増加により、伊豆斎場の占有率は 4 6 . 1 % と大きく伸長することが出来ました。終活セミナーを、1 1 月にオープンしたメモリアル松崎で開催し、湯灌サービスの実演を行い人気を集めました。また、終活イベントでは、遺影撮影会をメモリアル 4 会場で開催し、1 2 3 名に参加していただきました。

## 金融事業

「地域の農業発展と豊かな暮らしをサポートするJAバンク機能の発揮」を基本方針に掲げ、組合員・利用者のライフイベントやニーズに合わせたJAらしい特色のあるサービスの提案及び情報の提供に取り組んでまいりました。

金融・共済合同観劇、合同企画旅行等のイベントの実施、また夏・冬のキャンペーンを実施した結果、貯金については、年度初来11億円を積み上げることができました。

貸出金については、融資担当者と営農指導員による認定農業者定期訪問、住宅ローン利用者宅への定期訪問を継続実施してきましたが、人口の減少と高齢化の進展から資金需要は拡大基調には至らず、年度初来、14億円の減少となりました。

また、地域・利用者を繋ぐサービスの提供・地域貢献として、子供たちが食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを目的とした教材の贈呈、地域農業の大切さと地域で働くことの大切さを知ってもらうための小学生1日こども店長を継続実施しました。

### 金融円滑化に関する対応

当組合は、農業者の協同組織金融機関として「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を最も重要な役割の一つであると認識し、その実現に向けて「金融円滑化にかかる基本方針」を理事会にて制定し、取り組んでおります。

#### 金融円滑化にかかる基本方針（概要）

- 1 新規のご融資・お借入条件の変更等のお申込みに対する、柔軟な対応
- 2 お客さまの経営相談等、経営改善に向けた取組みへの支援
- 3 新規のご融資・お借入条件の変更等のご相談・お申込みに対する適切かつ十分な説明
- 4 新規のご融資・お借入条件の変更等に関する苦情相談への公正・迅速・誠実な対応
- 5 金融円滑化法の趣旨を踏まえた適切な対応
- 6 当組合の金融円滑化管理に関する体制

※ 方針の全文については、ホームページをご覧ください。

なお、苦情相談等を適切に行うための体制については以下のとおりとなります。

- (1) お客さまからの金融円滑化にかかるご相談の窓口を金融部に設置しているほか、各支店においても承っております。
- (2) お客さまからの当組合の金融円滑化にかかる措置に対する苦情については、苦情等統括部署に受付窓口を設置しております。また、各支店で苦情を受けた場合には、当組合所定の手続きに従って、速やかに苦情等統括部署に連絡をし、各支店が連携のうえ、適切な対応を実施する体制を整備しております。

また、当該措置に係る中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制については、金融円滑化責任部署又は金融円滑化管理協議会等を中心に、お借入条件の変更等を行ったお客さまの経営状況や経営改善計画の進捗状況を継続的に把握し、必要に応じて経営改善又は再生のための助言等を行う等、お客さまへの支援について真摯に取り組めます。

特に、農業者のお客さまに関しましては、当組合の営農部門とも連携し、経営相談等行う体制を整備しております。

---

## 共済事業

---

J A共済を取り巻く事業環境は、依然として少子化による人口減少、組合員・利用者の高齢化が進展し事業基盤の縮小が進行している状況です。

基本方針である「組合員・利用者との関係強化の徹底と新たな仲間づくり」を主軸とし、特に「次世代層との関係構築に向けた取り組み」を重点とした事業展開を図りました。

厳しい環境、万一保障から生存保障へ顧客ニーズが変化するなかL Aを中心に総合保障を意識した提案活動を実践し、令和元年度の推進総合ポイント目標を達成しました。

また、次世代層との関係構築に向け平成28年度より実施している「アンパンマンこども倶楽部」会員は、新たに52名の会員が加わるなど、共済事業の新たな仲間づくりに取り組みました。

短期共済においては、5年連続で自動車事故査定業務が県下J A第1位の対応力評価を頂き、利用者満足度向上に向けた事業運営に大きく貢献しました。

共済保全業務については、当J A管内に2度上陸した大型台風の損害調査に職員一丸となり取り組み、早期共済金支払に努めました。また、今後想定される大規模地震等に備えた自然災害損害査定員研修会や各種研修会を実施し、職員の知識向上及びコンプライアンス遵守の徹底に努めました。

---

## 加工事業

---

管内観光業の低迷により、近隣業者の卸売上が減少傾向にあるなか、販路開拓のため、取引の無かった県内西部地区J Aに営業し、販路拡大に取り組みました。

年始から、新型コロナウイルスにより、桜まつり等のイベント需要が減少したことから、売上が減少し計画未達となりました。

---

## 福祉事業

---

利用者の期待に応える高度なサービスを提供するため、介護福祉士等の資格取得や講習会等への参加を積極的に行いました。その結果、居宅介護支援事業・訪問介護事業の双方で、特定事業所加算Ⅱを取得することができました。

居宅介護支援事業では、年間1,740人の計画に対し、1,714人と利用者数では計画を下回りましたが、訪問介護事業では、年間780人の計画に対し、834人と計画を上回りました。

実績額は、両事業とも計画を達成することができました。

---

## 監査部門

---

会計監査人監査が導入されることを踏まえて策定された「内部統制に関する基本方針」に基づいた内部監査を実施しました。各部門の内部統制、リスクの高い事業拠点等のモニタリングを通して、業務監査・内部統制システム監査を行い組合の経営目標の達成、リスク対応、部門間の円滑な連携といった内部統制構築に努めました。

また、管理者に対しては、日常の管理状況を検証し、リスク認識の強化を図るとともに管理者意識の高揚に努め、担当者には事務マニュアルに沿った事務処理の徹底とコンプライアンス意識の強化を図る指導監査を実施しました。

---



事業・活動のトピックス（令和元年度）

年 月 日	処 理 事 項
平成31年4月1日	平成30年度定年退職者退所式
3日	メモリアル松崎起工式
4日	第60回東伊豆町花卉園芸組合通常総会
5日	LA進発式
6日	竹麻支店「はればれ売店」グランドオープン
8日	第3回東部地区JA合併研究委員会
9日	第29回青壮年部通常総会
15日～5月7日	平成30年度決算監事監査
16日	第29回女性部通常総代会
19日	稲取漁港直売所「こらっしえ」グランドオープン
23日	第1回監事会
26日	第1回定例理事会
	第1号議案 平成30年度不良債権の処理方針について
	第2号議案 平成31年度コンプライアンス・プログラム について
	第3号議案 出資減口についてについて
	第4号議案 会計監査人の選任議案について
	第5号議案 平成31年組合表彰について
	第6号議案 理事貸付について
令和1年5月3日	ニューサマー部会消費宣伝
9日	青壮年部稲取支部食育活動（芋さし）
10日	花卉園芸組合カーネーション部会消費宣伝
14日～31日	令和元年度上期地区別座談会
17日	第2回監事会
〃	青壮年部河津支部食育活動（落花生定植）
20日～23日	JA全国監査機構期末Ⅱ監査
22日～23日	いきいきライフセミナー開講式
28日	第2回定例理事会
	第1号議案 平成30年度貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案 注記表、事業報告、附属明細書の承認について
	第2号議案 第29回通常総代会について
	第3号議案 営業時間細則の一部変更について
	第4号議案 異常例検査指摘事項に対する回答書について
	第5号議案 大口貸付について
	第6号議案 職員給与規程の一部変更について
〃	第3回監事会
〃	青壮年部熱川支部食育活動（芋さし）

年 月 日	処 理 事 項
令和1年6月4日	青壮年部南伊豆支部食育活動（田植え）
11日～14日	J A静岡女性組織協議会設立70周年記念事業「九州宮崎船の旅」
22日	第29回通常総代会（総代867名中761名出席）
27日	第3回定例理事会
	第1号議案 平成30年度業務報告書について
	第2号議案 平成30年度連結業務報告書について
	第3号議案 東部地区J A合併委員会への参加について
	第4号議案 出資減口について
	第5号議案 令和元年度理事報酬額について
	第6号議案 令和元年度会議日当について
	第7号議案 平成30年度決算監事監査指摘事項回答書について
〃	第4回監事会
30日	終活イベント（メモリアル吉佐美）
令和1年7月1日	東部地区J A合併準備室へ2名派遣
1日～27日	ハウスみかん消費宣伝
2日	いちご生産者大会
5日	終活イベント（メモリアル河津）
8日	第1回東部地区J A合併委員会
9日	東伊豆町花卉園芸組合60周年記念大会
11日	第66回伊豆花卉園芸組合連合会通常総会
〃	終活イベント（メモリアル東伊豆）
12日	絹さや部会総会・販売報告会
18日	女性部と常勤理事との話し合い
〃	中伊豆温泉病院と女性部との懇談会
19日	柑橘委員会・中晩柑販売反省会
23日	野ぶき部会総会・販売報告会
26日	みのり監査法人計画Ⅰ監査
29日	第4回定例理事会
	第1号議案 平成30年度ディスクロージャー誌の開示について
	第2号議案 自己資本比率算出要領の一部変更について
	第3号議案 破綻懸念先に区分する債務者への新たな信用の 供与について
〃	第5回監事会
〃	親子クッキングフェスタ（西部）
30日	親子クッキングフェスタ（中・南部）

年 月 日	処 理 事 項
令和1年8月1日	親子クッキングフェスタ（東部）
2日	東伊豆町花卉園芸組合園地巡回
5日	花麦部会栽培講習会
8日	職場体験イベント「1日こども店長」
9日	第1回臨時理事会
	（1）令和2年度～令和4年度 店舗再編について
19日	柑橘委員会
26日	令和元年度柑橘生産者大会
28日	第5回定例理事会
	第1号議案 行政庁の報告徴求命令に基づくマネロン等対策 調査への対応について
	第2号議案 当座貸越の新規申込について
	第3号議案 新共済端末機（Kinds' 19・新Lablet's）の更新に 伴うリース契約の締結について
	第4号議案 出資減口について
	第5号議案 破綻懸念先の当座貸越継続について
〃	第6回監事会
31日	中南部地区ふれあい祭
令和1年9月3日	第2回臨時理事会
	（1）地区分散会（地区別検討会）
	（2）令和2年度～令和4年度 店舗再編について
	①支店・店舗再編
	②営農経済実施体制
4日	河津町花卉園芸組合通常総会
6日	中西部わさび共販委員会総会・販売報告会
7日	西部地区ふれあい祭
10日	（東）わさび共販委員会中間検討会
13日	第7回監事会
24日	中核的人材教育「太陽塾」5期生閉講式
25日	岩井茂樹参議院議員と青壮年部の意見交換会
26日	第6回定例理事会
	第1号議案 子会社の統合について
〃	みどりの教室（1期生）閉講式
29日	東部地区ふれあい祭
30日	フレッシュミズ開講式
〃	令和元年度仮決算棚卸監査



年 月 日	処 理 事 項
令和1年10月2日	南伊豆花卉全体販売会議
3日	柑橘委員会
5日	J Aクリーンロード大作戦
9日	みどりの教室（2期生）開講式
15日	第3回臨時理事会
	（1）令和2年度～令和4年度 店舗再編について
	（2）その他
	伊豆太陽サービス事業収支計画案
	はればれ売店の施設改修について
〃	第8回監事会
16日～11月6日	令和元年度仮決算監事監査
17日～18日	令和元年度金融・共済合同企画旅行
	「世界遺産を巡る奈良の旅路」
23日	賀茂農林事務所との情報交換会
25日	第34回有機農法部会総会
29日	メモリアル松崎竣工・落成式
〃	中核的人材教育「太陽塾」6期生開講式
30日	第7回定例理事会
	第1号議案 不良債権処理の方針について
	第2号議案 令和元年度仮決算について
	第3号議案 静岡県信用農業協同組合連合会への出資対応
	について
	第4号議案 役員任期満了にかかる改選について
	第5号議案 総代改選について
	第6号議案 店舗再編計画について
	第7号議案 支店建設委員会の設置について
	第8号議案 出資減口について
	第9号議案 破綻先の当座貸越継続について
	第10号議案 特例業務負担金長期前納について
30日～11月8日	みのり監査法人期中Ⅰ監査
令和1年11月6日～12日	令和元年度地区別認定農業者懇談会
7日	ニューサマー部会総会
13日	第9回監事会
13日～15日	令和元年度金融・共済合同企画旅行
	「鳥羽・南紀一周 大阪満喫の旅」
15日	ハウスみかん部会総会・販売報告会
19日	終活イベント（メモリアル松崎）
21日～22日	中西部わさび共販委員会消費宣伝
23日	しいたけ栽培スクール
28日	みのり監査法人計画Ⅱ監査
29日	第8回定例理事会
	第1号議案 出資減口について
	第2号議案 第30回J A伊豆太陽農業祭開催について
	第3号議案 訪問介護事業運営規程及び介護予防・日常生活支援
	総合事業運営規程の一部変更について
	第4号議案 A T Mの更新に伴うリース契約締結について



年 月 日	処 理 事 項
令和2年2月1日～29日	いちご消費宣伝
4日～7日	金融・共済合同観劇「大月みやこ歌謡ショー」
12日	水稻栽培スクール
13日	第11回監事会
14日	役職員会意見発表大会
18日	（東）わさび共販委員会総会・販売検討会
19日	終活セミナー（メモリアル松崎）
21日～22日	第36回静岡県花の展覧会
22日	いずのはる消費宣伝
25日～26日	理事専門委員会
27日	マーガレット消費宣伝
28日	第11回定例理事会
	第1号議案 次期3か年計画（案）について
	第2号議案 令和2年度事業計画（案）について
	第3号議案 令和2年度再編に伴う諸規程の一部変更について
	第4号議案 固定資産（竹麻支店金庫）の取得について
	第5号議案 第30回JA伊豆太陽農業祭開催中止について
	第6号議案 新型コロナウイルスに伴う役員候補者選出会議の開催方法変更について
令和2年3月9日～12日	みのり監査法人資産自己査定監査
13日	第12回監事会
18日	JAバンク食農教育本贈呈
23日	令和2年度新採用職員入所式
30日	第12回定例理事会
	第1号議案 学識経験・女性・青壮年部理事及び学識経験・員外監事の推薦について
	第2号議案 出資減口について
	第3号議案 リスク評価書の一部改訂について
	第4号議案 令和2年度 余裕金運用について
	第5号議案 令和2年度 余裕金運用方針・計画について
	第6号議案 破綻懸念先に区分する債務者への期限延期について
〃	第13回監事会
31日	令和元年度決算棚卸監査